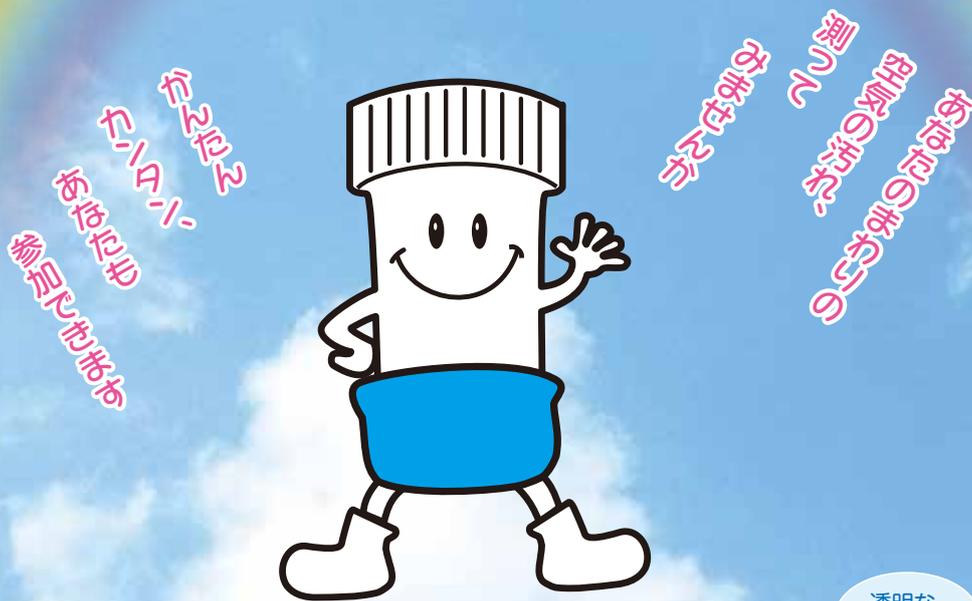


# ソラダス 2016

## 全府いっせいで NO<sub>2</sub> 測定

大気汚染の指標 NO<sub>2</sub> 濃度を住民自身の手で測り  
身近なところの空気の汚れを調べる運動です



● 測定日 **2016年 5月19日(木) 18:00**  
**~20日(金) 18:00**  
(24時間)



### ● 測定は簡単、上記時間に 測定用カプセルを取り付けるだけ

測定は、実行委員会で用意した小さな測定用カプセルを決めた時間に取り付け、24時間後に取り外すだけ。後は実行委員会で NO<sub>2</sub> 濃度を分析します。この測定方法は改良を重ねられ、国・自治体でも有効性を認めています。

### ● 実施内容

- ① 府全域を調べるメッシュ測定  
約1,000メートル(大阪市内は約500メートル)区画ごとに5個以上のカプセルを取り付けます。  
各行政区で実行委員会をつくって準備、測定します。
- ② 各団体・グループ・個人が取り組む自主測定  
それぞれでテーマを決めて全く自由に参加できます。環境教育、道路沿道測定など目的に応じた企画のご相談にも応じます。
- ③ 健康アンケートを実施  
大気汚染の実態だけでなく健康アンケートとクロス集計をすることによって、大気汚染と健康の関係、特にぜん息との関係を調査します。

● カプセル代金：1個 300円 お申し込み／各地実行委員会 または 下記 本部実行委員会まで

# 今なぜ

# ソラダスなの!?

## 住民による環境測定の意味

### 大気汚染と健康アンケートの対比

私たちが取り組むソラダスの最大の特徴は、大気汚染の実態だけでなく健康アンケートとクロス集計をすることによって、大気汚染と健康の関係、特にぜん息との関係を調査することです。

### ぜん息児童が高止まり、30年前の3~5倍へ

子どもたちの中でぜん息が増えており、文部科学省の学校保健統計によると、ぜん息を患う子どもの比率（ぜん息被患率）はこの30年間で3~5倍も増え、特に中学生、高校生の被患率が高止まりです。大阪の被患率は常に全国平均をはるかに上回っています。

### なかなか達成されない環境基準

環境基準は、環境行政の基礎となる貴重な指標です。何よりも人の健康を守るために設けられた基準です。現行のNO<sub>2</sub>環境基準は0.04ppm~0.06ppmとなっていますが、その上限値0.06ppmが達成すべき基準のように扱われています。現状でもたくさんのぜん息など健康被害者が発生しているのですから、最低でも0.04ppm以下となるべきなのに、基準は改定されないままになっています。

### みんなで測ろうNO<sub>2</sub>濃度

大気汚染の主な物質は、自動車排ガス、中でもディーゼル排ガスに含まれる窒素酸化物(NO・NO<sub>2</sub>など)や微小粒子状物質(PM2.5)などです。二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)を測れば、それら大気汚染の実情が分かり、住民の手によるデータで行政に働きかけることが出来ます。測り方は簡単、どなたでも参加できます。NO<sub>2</sub>をみんなで一緒に測りましょう。

測定は簡単、測定用カプセルを取り付けるだけ

測定日までに



①カプセルが届いたら上下のキャップと番号つきラベルがついているかを確認する

●カプセルの青色のゴムキャップ(ふた)は当日まで開けないこと。(子どもの手の届かないところに保管してください)

測定日(5月19日午後6時)



②青色のゴムキャップをはずす。

●白色のネジ式のキャップは絶対にはずさないでください。

●青色のゴムキャップは測定終了後にフタとして使います。なくさないようにきちんと保管してください。



③カプセルを軽く振って、中に入っている紙(円形の白い紙)が底面にぴったりとつくようにする。

●これはとても重要なことなのです。

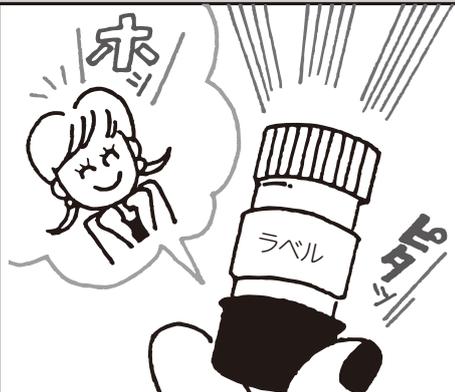


④白いキャップを上にして、ガムテープなどでしっかりと取り付ける。

(ガムテープをたて半分にし、先にカプセルを貼っておくと便利です。よ。ラベルがはがれないように注意してね)

●とりつける高さは1.5m(大人の目の高さ)です。

24時間後(5月20日午後6時)



⑤カプセルを取りはずし青色のゴムキャップでふたをする。